

## 兵庫県医師会医療支援チーム（第14陣）「宮城県災害支援現地報告」

神戸市長田区医師会 津田 正治

4月18日（月）～20日（水） 「平成の大合併」で周辺6町と合併した、人口16万人超の石巻市へ医療支援に行っていました。

18日（月） 無事に申し送りを受け、石巻中の救護所にて診療中、午後4時ごろ、不審者が避難所に侵入するも、大した混乱もなく容疑者逮捕される。避難者の健康面だけでなく、危機管理面にも問題を残す。

19日（火） 石巻市では、学校再開を21日に決めていたが、行政が各避難所で別の施設への移動をもちかけたところ、「唐突すぎる」「遠すぎる」などと強く反発、一旦白紙に。何時再開されるのか不明。

ボランティアで、石巻中に清掃に来ていた生徒達から「1日も早く学校を再開してほしい」との生の声を直接聞き、複雑な気持ちに。

20日（水） 昨日の夕方からの雨が雪に変わり、石巻中の屋根も今朝は、白く雪化粧。避難者の医療を総括している石巻日赤病院の石井先生と、石巻市長が本日初めて、今後の医療体制を含め、要介護者の対応、再津波時の対応、学校再開日時等について会談予定との事。震災後40日たって初めて会談とは・・・改めて行政の対応について考えさせられる。

この3日間救護所に於いては、殆どが咳、風邪と血圧の管理等の患者さんのみで、緊急搬送事例もなく無事に仕事を終えることが出来ました。

一緒にお仕事させて頂いた、河合、大山、佐野先生を始め、県医師会事務局の曾谷さん、尼崎、明石市医師会の事務の方々、看護師、薬剤師さんに改めて感謝申し上げます。